

令和6年度 第4回運営推進会議議事録 看護小規模多機能ホームやすらぎ		記載日	令和 6年 10月 8日
		記載者	川添 真希
議題	1. 利用状況 2. 交流・行事・地域活動の実施状況 3. 利用者状況・サービス状況 4. 事故・苦情の状況 5. 連絡事項 6. 地域の現状等情報交換 7. 運営推進委員からの助言・評価		
日時	令和 6年 10月 8日(火) 10:00~11:00		
出席者 敬称略	上中3区 町内会会長 グループホームなごみの郷亀山 三入・可部地域包括支援センター 看護小規模多機能ホームやすらぎ	石丸 敏和 廣森 靖司 片山 崇紀 川添 真希 大道 麻衣子	
欠席者 敬称略	広島市民生委員 ご利用者ご家族代表	宮下 涼子 藤原 照夫 植田 美鈴	
議事	1. 利用状況 【看護小規模多機能ホームやすらぎ登録者】 25名/29名中(登録定員) 要介護1: 3人 要介護2: 1人 要介護3: 1人 要介護4: 7人 要介護5: 10人 区分変更申請中 3人 *平均介護度: 3.9(前回3.8) *平均年齢 : 81.6歳(48~103歳) (令和 6年9月30日現在) ・新規利用… 8月 8名 ターミナルケア、緩和ケア、退院直後 9月 5名 ターミナルケア、退院直後 ・利用終了… 8月 4名 ご逝去 9月 4名 ご逝去 【通いサービス】 利用者実数: 25名/29名(令和 6年9月30日現在) 一日平均利用者数(8/1~7/30): 10.7名/日 延べ利用者数(8/1~9/30): 648名		

【訪問サービス】

看護：20名/25名 延べ訪問件数（8/1～9/30） 1154件

介護：13名/25名 延べ訪問件数（8/1～9/30） 1546件

【泊まりサービス】

利用実人数：10名/25名

平均宿泊者人数（8/1～9/30の平均）：5.5名/日

延べ宿泊者数 345名（8/1～9/30）

長期宿泊者人数 1名（施設入所待ち）

2. 交流・行事等の実施状況

【実施した交流・行事】

- お誕生日のお祝い 8月男性2名、女性1名、9月男性1名
- 午後からのプログラム 体操・作品作り、カラオケ
- レクリエーション：インドネシアダンス、歌唱ショー、やすらぎオリンピック
- 地域活動：上中3区町内会清掃活動参加（職員3名）

3. 事故・苦情の状況等（8/1～9/30）

【アクシデント 11件】

転倒転落関連：4件、皮膚損傷関連：2件、介助の際膝負傷：1件

服薬関連：3件、伝達ミス：1件

レベルⅢ以上のアクシデント：4件

①夜間不眠を訴え不眠時の内服後入眠され、4時に物音がしたため訪室するとベッドの降り口付近で四つ這いになっているご利用者を発見した。「足がふらついて転んだ」とのこと。左目周囲の打撲痕、左後頭部から頸部の痛みを訴えた。その後意識状態の観察、継続を行ったが、状態変化はなく経過した。

□対策：

ご家族、ご本人と相談し了承の上センサーマットを設置した。同ご利用者、夜間の転倒が6日後に再発あり、再度対応方法を検討しベッド周囲環境整備や緩衝マットの使用を行った。

②車椅子で注入食を胃ろうから行うご利用者を、ベッドに臥床介助を行った際右前腕に1cm大の皮膚剥離を発見した。介助者が身に付けていたものが引っ掛かった可能性あり。創部は皮膚被覆材を使用し処置を要した。

□対策：

介助する側は、身に付けている物は外し安全に介助する。

③ご利用者の自宅から、車椅子対応で乗車介助し送迎していた。坂道を下る際ご本人が前のめりに転倒し後部座席付近に顔面を打撲した。鼻出血あり。事業所に到着時は止血していたが、鼻部の発赤がみられた。経緯をご家族にご説明し謝罪をし、了承された。その後、体調変化はなく経過した。

□対策：

乗車介助後、チルト式車椅子のリクライニングを倒す。座位姿勢が保てるよう、クッション等を使用し、ズレが生じないように対応する。送迎時ルートは、急こう配な道を選ばないようにする。

□インシデント

- ・内服薬の準備忘れ
- ・伝達ミスにより内服時間を忘れそうになった
- ・携帯酸素の残量が少なくなっていた
- ・胃ろう交換日を訪問診療日に準備や把握ができていなかった
- ・センサーマットが設置されていない側で、ご利用者が端坐位になっていた
- ・ポータブルトイレ前で、しりもちをつく形で座りこんでいた
- ・ご本人より「転倒した」と事後報告を受けた
- ・センサーマットのスイッチの入れ忘れ、確認ミス

【苦情…1件】

(内容)

2F ご利用者。食事の提供時間について7時・12時・18時とあらかじめ希望時間を確認し、対応していたが8/28 7時に看護師が朝の挨拶に出向き、朝食配膳についてご本人の了承は得ていた。

その後、他のご利用者の対応により7:10お詫びを伝え配膳したが「時間が遅れる場合には、予め伝えてほしい。ここは、ちょっと待ってくださいが多い。自分は認知症ではないし同じ扱いをされても困る。

夜もいろんな物音がしてイライラはしている。食事もゆっくり食べたいが、食べたか食べたかと催促されるようだ」と応対について苦情を受け付けた。

(先方の要望)

食事時には食事提供はしてほしい。遅れる場合は事前に教えてほしい。

認知症扱いはしないでほしい。

(対応)

内容を真摯に受け止めお詫びし傾聴した。食事提供時間の周知および、遅延する場合は具体的な時間や理由の説明を行う。日ごろからのコミュニケーションを図り、待たされる側や入居者の気持ちになって関わること等カンファレンスの時間に振り返りと対応について話し合った。

【その他報告内容】

・町内会活動について、今年度より活発的に参加ができている。地域の一人として、事業所の一人として職員の意識も高まった。

・この度より三入・可部地域包括支援センター佐々木様より片山様へ変更となりました。

【出席者からの評価・要望・助言など】

・地域活動の参加に大変助かっている。今年の秋祭りの神輿の担ぎ手は近隣施設にも呼びかけ若い方の力に期待したい。

にのみやグループの広報誌の内容は、素人にもわかりやすく回覧板で回しています。この度は、「心臓病について」特集してあるため、とても興味が皆さんあると思う。

・やすらぎのスタッフの活動やケアについて、家族の立場から大変助かっている。看護小規模多機能サービスを利用し始めて、以前に比べ経済的な負担が軽減でき安心感がある。今後も頑張っていたきたい。

・利用終了の方へアルバムをプレゼントは、家族にとってうれしいと感じる。

・レクリエーション活動や利用者状況など、事業所の取り組みが分かりやすかった。

・平均介護度 3.9 であると、重度の方へ関わっていることでしょう。事故報告については、風化させず定期的な意識づけにより未然に取り組めるよう頑張ってください。

【長期連泊者の承認について】

施設入所待ちの長期連泊者について協議。入所時期が 2 か月以内に確定する見込みであることから、それまでの間は連泊を承認する

【連絡事項】

次回の運営推進会議

令和 6 年 12 月 10 日 (火) 10 : 00-11 : 00

看護小規模多機能ホームやすらぎ 相談室

以上